

付 属 資 料

1 ビジョンの策定経過

第1段階 5つの変化要因の分析（平成21年11月～平成22年3月）

将来ビジョン検討会議の開催

○今後の社会経済の変化要因による福井への影響や課題を分析、検討

開催日	テーマ
平成21年11月30日	東アジアの成長と福井県
12月17日	都市と地方の連携
平成22年1月7日	人口構造の変化と日本、福井県の課題
1月13日	環境と共生する社会に向けての課題
2月16日	新しい人間像

※のべ参加者数：127人（有識者、県議会議員、若手経済人、学生、市町職員）

第2段階 将来像や戦略の検討（県民の方々からの意見集約）（平成22年4月～8月）

地区別意見交換会の実施（4月～6月）

○将来ビジョン検討会議（5回開催）の検討結果をもとに、県内各地区の方々と地区および福井の将来像について意見交換

開催日	地区
平成22年4月13日	奥越地区
4月19日	若狭地区
5月11日	二州地区（敦賀市、美浜町）
5月24日	坂井地区（あわら市、坂井市）、永平寺町
5月31日	丹南地区
6月17日	福井地区

※のべ参加者数：172人（各地区の代表者、県議会議員、学生、市町職員）

分野別意見交換会の実施（7月～8月）

○福祉、産業、教育などさまざまな団体の方々とそれぞれの分野や県全体の将来像について意見交換

開催日	政策分野
平成22年7月13日	産業・労働
7月15日	人づくり
7月15日	福祉・医療
7月15日	環境・自然保護
7月16日	コミュニティづくり
7月22日	子育て・女性
7月23日	観光
8月26日	農業
8月30日	水産業
8月31日	林業

※のべ参加者数：115人（各分野の関係者）

県民アンケートの実施（6月発送、8月集計・分析）

○福井の将来に関する県民アンケートを実施

※県内に居住する満20歳以上の5,000人に送付し、2,501人から回答

第3段階 ビジョン素案作成・検討（平成22年7月～10月）

○第1～2段階での議論を参考にとりまとめたビジョン素案について検討

平成22年9月1日 市町首長との意見交換会

9月3日 県議会議員との意見交換会

定例県議会において議論

10月1日 県民パブリックコメント（アイデア）の募集
～22日

最終段階 ビジョンを議案として提出・承認（平成22年11月～12月）

平成22年11月26日 福井県民の将来ビジョンの策定について、定例県議会に
議案として提出

定例県議会において議論

平成22年12月17日 案の議決・承認

2 県民アンケート調査の結果

I 調査の概要

1 調査目的

『福井県民の将来ビジョン』を策定するに当たり、有識者による検討会議や県民との地区別懇談会を開催するとともに、アンケート調査を実施することによって、広く県民の意見を把握し、福井がめざす将来像や戦略に反映させる。

2 調査内容

(1) 県民の価値観

豊かさの意味や消費の志向、大切にしている人のつながりなど、県民の価値観を把握し、また過去の調査結果と比較を行うことにより、県民の思いを反映した福井の将来の姿を示す。

(2) 県民の満足度

県民のふるさとの評価や県外との比較を行うことにより、ビジョンにおける具体的な戦略や施策の方向性を考える際の参考とする。

(3) 県民の希望

福井の将来に対する県民の希望（良くなると思うところなど）を把握することにより、ビジョンにおける戦略や施策の方向性を考える際の参考とする。

(4) 県民の将来ビジョン

ビジョンの素案に示した戦略に関する柱（人づくり、コミュニティ、環境、産業、街づくり）ごとに、県民が望む将来の姿を把握することにより、戦略や施策の方向性を考える際の参考とする。

3 調査期間

平成22年6月22日～6月30日

4 調査方法

郵送による調査票配布、回収

5 調査対象

県内に居住する満20歳以上の5,000人
(住民基本台帳から年代別に無作為抽出)

6 回答者数

2,501人(回収率50.02%)

7 回答者の属性

〔居住地〕

	回答者数	構成比		回答者数	構成比
福井市	794	31.7%	池田町	15	0.6%
あわら市	100	4.0%	南越前町	40	1.6%
坂井市	283	11.3%	敦賀市	179	7.2%
永平寺町	64	2.6%	小浜市	102	4.1%
大野市	119	4.8%	美浜町	27	1.1%
勝山市	97	3.9%	高浜町	30	1.2%
鯖江市	205	8.2%	おおい町	25	1.0%
越前市	262	10.5%	若狭町	46	1.8%
越前町	69	2.8%	未記入・無効等	44	1.8%
			計	2,501	100.0%

〔年齢〕

	回答者数	構成比
20～29歳	184	7.4%
30～39歳	276	11.0%
40～49歳	329	13.2%
50～59歳	453	18.1%
60～69歳	520	20.8%
70歳以上	701	28.0%
未記入・無効等	38	1.5%
計	2,501	100.0%

〔性別〕

	回答者数	構成比
男	1,052	42.1%
女	1,369	54.7%
未記入・無効等	80	3.2%
計	2,501	100.0%

〔職業〕

	回答者数	構成比
自営業	266	10.6%
家族従事者	55	2.2%
会社役員・団体役員	66	2.6%
会社員・公務員	694	27.7%
パート・アルバイト	312	12.5%
学生	17	0.7%
専業主夫・主婦	305	12.2%
無職	578	23.1%
その他	108	4.3%
未記入・無効等	100	4.0%
計	2,501	100.0%

〔世帯構成〕

	回答者数	構成比
ひとり暮らし	165	6.6%
夫婦のみ	502	20.1%
2世代世帯	1,038	41.5%
3世代世帯	589	23.6%
その他	144	5.8%
未記入・無効等	63	2.5%
計	2,501	100.0%

〔配偶者の有無〕

	回答者数	構成比
有	1,779	71.1%
無	643	25.7%
未記入・無効等	79	3.2%
計	2,501	100.0%

〔共働き（配偶者がいる方のみ）〕

	回答者数	構成比
共働きである	913	51.3%
共働きではない	749	42.1%
未記入・無効等	117	6.6%
計	1,779	100.0%

〔学生の有無〕

	回答者数	構成比
いる（同居）	688	27.5%
いる（別居）	178	7.1%
いない	1,535	61.4%
未記入・無効等	100	4.0%
計	2,501	100.0%

Ⅱ 調査結果の概要

- 1 日々の生活の中で「家族との触れ合い」や「友人など気のあう仲間との交流」を大切に考えている。
 - ・日々の生活の中で大切にしたいことについて聞いたところ、「家族との触れ合い」の割合が6割以上と群を抜いて高く、次いで「友人など気の合う仲間との交流」の割合が高かった。
 - ・さらに、3番目に「経済的な豊かさ」が続き、「ふくい2030年の姿」に関するアンケート調査（2004年）（※以下、2004年調査という。）の「趣味やスポーツ、レジャーなどの余暇活動」と異なる結果となり、近年の厳しい経済状況を反映する結果となった。
(設問：問1)

- 2 「心身の健康」に豊かさを感じている。
 - ・「豊かさ」とはどのようなことか聞いたところ、7割以上が「心身の健康」と答えており、次いで、「安定した家族関係」、「生きがいや目標を持った生活」と続き、2004年調査と同じ結果となった。
 - ・年代別にみると、50歳代以下は、「生きがいや目標を持った生活」、「収入や資産が多いこと」、「時間的なゆとり」の割合が高く、一方、60歳代以上は、「心身の健康」、「豊かな自然に囲まれた生活」、「普段の生活が便利なこと」の割合が高くなっている。
(設問：問2)

- 3 「健康・医療」に積極的にお金を使いたいと考えている。
 - ・日々の生活の中で何に積極的にお金を使いたいか聞いたところ、4割以上が「健康・医療」と答えており、次いで「趣味・レジャー」の割合が高かった。さらに、3番目に「食」が続き、2004年調査の「住居」と異なる結果となった。
 - ・年代別にみると、50歳代以下は「趣味・レジャー」の割合が最も高く、一方、60歳代以上では、「健康・医療」の割合が、50歳代以下に比べ相当高くなっている。
(設問：問3)

- 4 「家族」、「地域や近所の人」とのつながりを大切に、今後、地域社会を支える主体として最もふさわしいと考えている。
 - ・日々の生活の中で、どのような人との関係を大切にしているか聞いたところ、8割以上が日々の生活の中で「家族」との関係を大切にしていると答えており、2004年調査と比較すると23.4ポイント高くなっている。
 - ・また、10年後の福井において、地域社会を支えるのにふさわしい主体として、8割以上が「家族や同じ地域の人」と答えており、今後もこれらの人との関係を大切にしたいと思っていることが伺える。
(設問：問4、問21)

5 福井の高齢層（60 歳代～）は 全国に比べ、近所づきあいや地域活動を積極的におこなっている。

・福井では、高齢層の 98.1%が近所づきあいをおこなっており、全国に比べ 4.2%高い。
また、この 1 年間に 77.4%が地域活動に参加しており、全国に比べ 23.8%高い。

※福 井：「親しくつきあっている（54.9%）」、「あいさつをする程度（43.2%）」

全 国：「親しくつきあっている（47.6%）」、「あいさつをする程度（46.3%）」

※平成 21 年度内閣府「高齢者の日常生活に関する意識調査」との比較

（設問：問 5、問 7）

6 8 割以上が福井に暮らしてきて満足しており、「豊かな自然環境」、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らせること」、「温かい人間関係を大切にしていること」に満足している。

・82.0%の県民が、福井に暮らしてきたことに対する満足感を持っている。

※「暮らしてきてよかった（51.6%）」、「どちらかといえば暮らしてきてよかった（30.4%）」

・また、福井の良いところについて、「空気や水がきれい、緑豊かな自然環境」と答えた方が最も多く（74.1%）、次いで「災害や犯罪が少なく、安心して暮らせる（57.1%）」、

「温かい人間関係を大切にしている（23.6%）」という結果となった。

（設問：問 11、問 12）

7 10 年後の福井に、「福祉・医療サービスの充実」、「自然環境の保全」、「産業の振興、雇用の安定」を期待している。

・10 年後の福井が今よりも良くなってほしいところについて聞いたところ、「福祉や医療サービスが充実し、高齢者や障害を持つ人が大切にされている」が 42.1%と最も割合が高くなっている。次いで、「空気や水がきれいで、緑豊かな自然環境が守られている」40.5%、「産業が盛んで、働く場に恵まれている」35.7%と続いている。

（設問：問 18）

Ⅲ 項目別の調査結果

問1 あなたが、日々の生活の中で大切にしたいと思っていることはどのようなことですか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

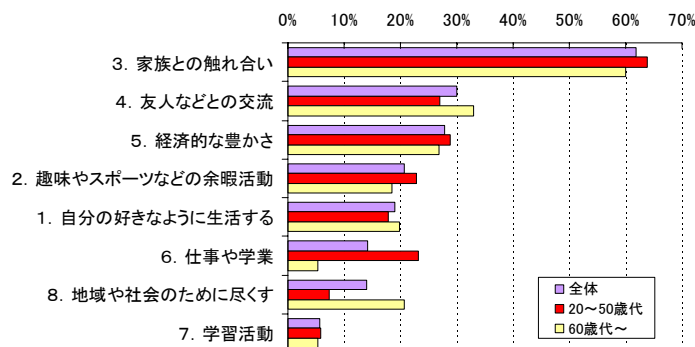
- 答**
1. 自分の好きなように生活すること (475)
 2. 趣味やスポーツ、レジャーなどの余暇活動 (518)
 3. 家族との触れ合い (1546)
 4. 友人など気の合う仲間との交流 (750)
 5. 経済的な豊かさ (698)
 6. 仕事や学業 (353)
 7. 学習活動により自分の能力を高めること (139)
 8. 地域や社会のために尽くすこと (351)

※上記カッコ内は、各項目の回答者数 (問2以降も同様)

※下記グラフの割合は、「各項目の回答者数/回答者総数」(問2以降も同様)

・「家族との触れ合い」の割合が61.8%で群を抜いて高く、次いで「友人など気の合う仲間との交流」、「経済的な豊かさ」と続いている。

〔年代別〕



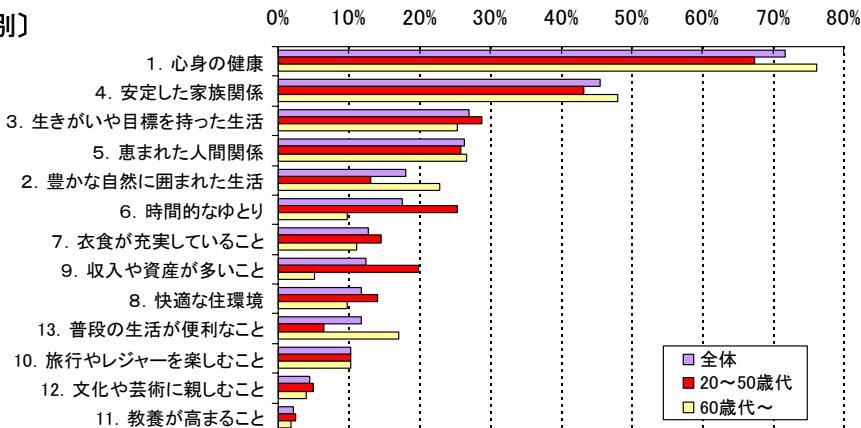
問2 あなたにとって「豊かさ」とはどのようなことですか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

- 答**
1. 心身の健康 (1794)
 2. 豊かな自然に囲まれた生活 (450)
 3. 生きがいや目標を持った生活 (676)
 4. 安定した家族関係 (1139)
 5. 恵まれた人間関係 (657)
 6. 時間的なゆとり (439)
 7. 衣食が充実していること (321)
 8. 快適な住環境 (295)
 9. 収入や資産が多いこと (313)
 10. 旅行やレジャーを楽しむこと (254)
 11. 教養が高まること (53)
 12. 文化や芸術に親しむこと (111)
 13. 交通や買い物など普段の生活が便利なこと (296)

・「心身の健康」の割合が71.7%で群を抜いて高く、次いで、「安定した家族関係」、「生きがいや目標を持った生活」が続いた。

・年代別にみると、50歳代以下は、「生きがいや目標を持った生活」、「収入や資産が多いこと」、「時間的なゆとり」の割合が高く、一方、60歳代以上は、「心身の健康」、「豊かな自然に囲まれた生活」、「普段の生活が便利なこと」の割合が高くなっている。

〔年代別〕

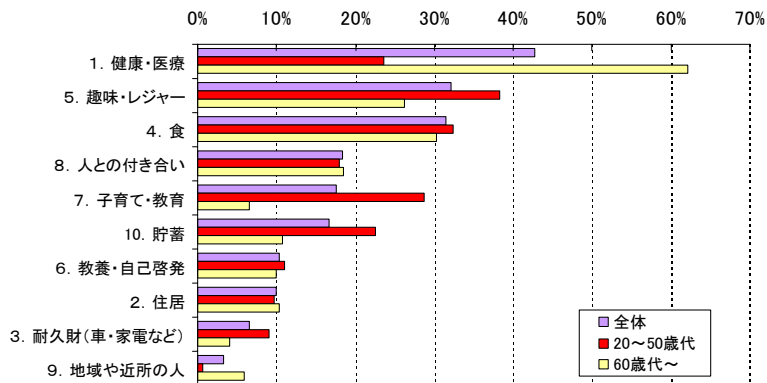


問3 あなたは日々の生活で、何に積極的にお金を使いたいと思っていますか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

- 答 1. 健康・医療 (1068) 2. 住居 (251) 3. 耐久財 (車・家電など) (165) 4. 食 (787)
 5. 趣味・レジャー (804) 6. 教養・自己啓発 (257) 7. 子育て・教育 (438)
 8. 人との付き合い (459) 9. 地域や近所の人 (82) 10. 貯蓄 (417)

- ・「健康・医療」の割合が42.7%で最も高く、次いで「趣味・レジャー」の割合が高かった。さらに、3番目に「食」が続いた。
- ・年代別にみると、50歳代以下は「趣味・レジャー」の割合が最も高く、一方、60歳代以上では、「健康・医療」の割合が、50歳代以下に比べ相当高くなっている。

〔年代別〕

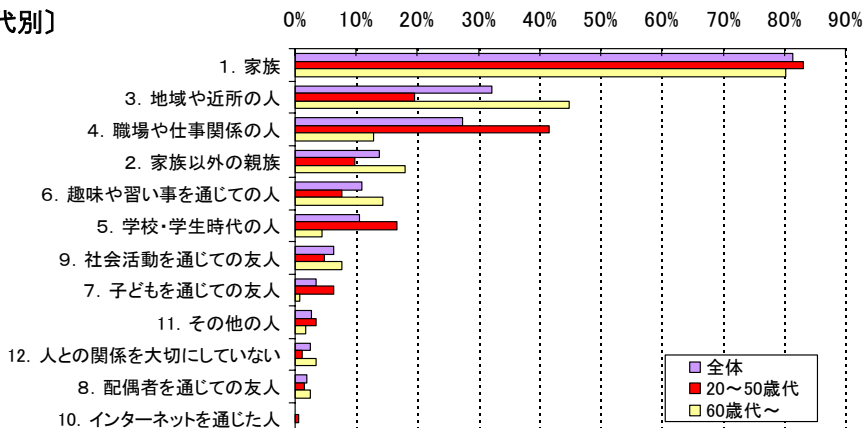


問4 あなたは日々の生活で、どのような人との関係を大切にしていますか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

- 答 1. 家族 (2037) 2. 家族以外の親族 (346) 3. 地域や近所の人 (804)
 4. 職場や仕事関係の人 (682) 5. 学校・学生時代の人 (265)
 6. 趣味や習い事を通じての人 (273) 7. 子どもを通じての友人 (88)
 8. 配偶者を通じての友人 (49) 9. 社会活動を通じての友人 (157)
 10. インターネットを通じた人 (6)
 11. その他の人 (66) 12. 人との関係を大切にしていない (61)

- ・「家族」の割合が81.4%で群を抜いて高く、2004年調査と比較すると23.4ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると50歳代以下は「職場や仕事関係の人」、「学校・学生時代の人」の割合が高く、60歳代以上では、「地域や近所の人」、「家族の親族」、「趣味や習いごとを通じての人」の割合が高くなっている。

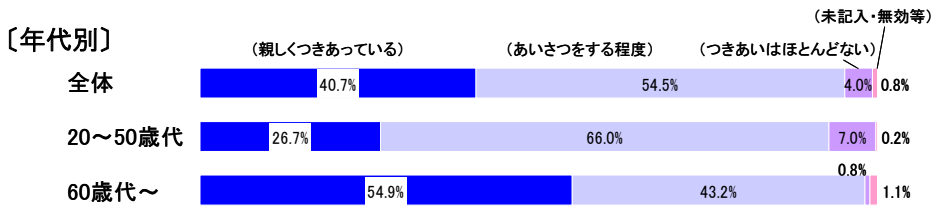
〔年代別〕



問5 あなたは、ふだん、近所の人とどの程度のつきあいをしていますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答 1. 親しくつきあっている (1019) 2. あいさつをする程度 (1364)
3. つきあいはほとんどない (99) 未記入・無効等 (19)

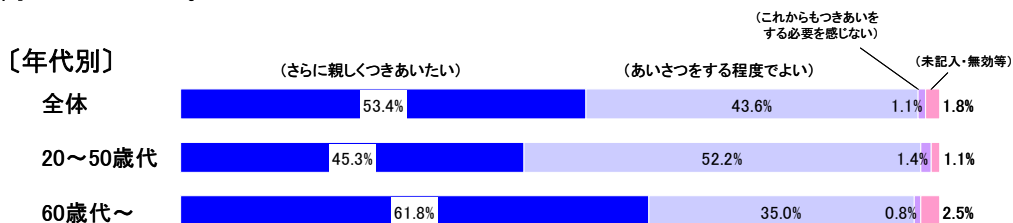
- ・「親しくつきあっている」の割合が40.7%、「あいさつをする程度」の割合が54.5%で、95.2%が何らかの近所づきあいをしている。一方で、「つきあいはほとんどない」は4.0%であった。
- ・年代別にみると、60歳代以上で「親しくつきあっている」の割合が54.9%と、20～50歳代の倍以上となっている。



問6 近所の人とのつきあいについて、これからどうしていきたいとお考えですか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答 1. さらに親しくつきあいたい (1336) 2. あいさつをする程度でよい (1091)
3. これからもつきあいをする必要を感じない (28) 未記入・無効等 (46)

- ・「さらに親しくつきあいたい」の割合が最も高く53.4%であり、「あいさつをする程度でよい」が43.6%、「これからもつきあいをする必要を感じない」が1.1%であった。
- ・年代別にみると、60歳代以上の「さらに親しくつきあいたい」の割合が20～50歳代よりも高くなっている。

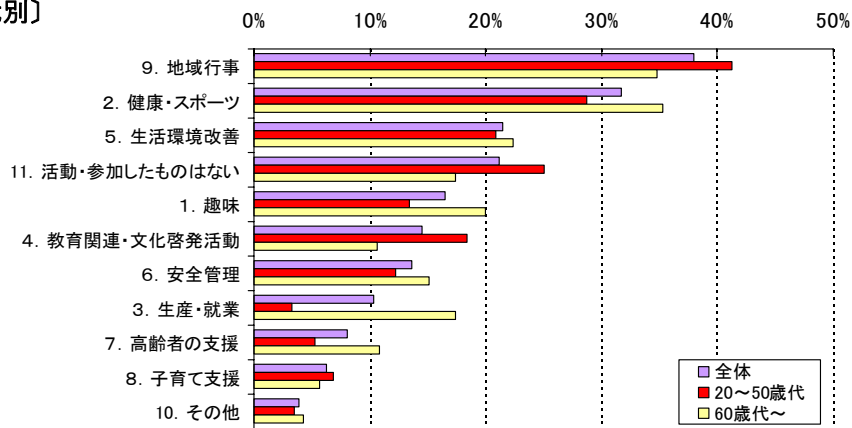


問7 あなたは、この1年間に、個人または友人と、あるいはグループや団体で自主的に行われている次のような活動を行った、または参加したことがありますか。この中からいくつでも選んで○をつけてください。

- 答 1. 趣味（俳句、詩吟、陶芸等） (412)
2. 健康・スポーツ（体操、歩こう会、ゲートボール等） (794)
3. 生産・就業（生きがいのための園芸・飼育、シルバー人材センター等） (258)
4. 教育関連・文化啓発活動（学習会、子供会の育成、郷土芸能の伝承等） (362)
5. 生活環境改善（環境美化、緑化推進、街づくり等） (538)
6. 安全管理（交通安全、防犯・防災等） (341) 7. 高齢者の支援（家事援助、移送等） (203)
8. 子育て支援（保育への手伝い等） (157)
9. 地域行事（祭りなどの地域の催しものの世話等） (950)
10. その他 (98) 11. 活動・参加したものはなし (531)

- ・「地域行事」の割合が最も高く38.0%であり、次いで、「健康・スポーツ」、「生活環境改善」と続いた。一方で、「活動・参加したものはなし」が21.2%であった。

〔年代別〕

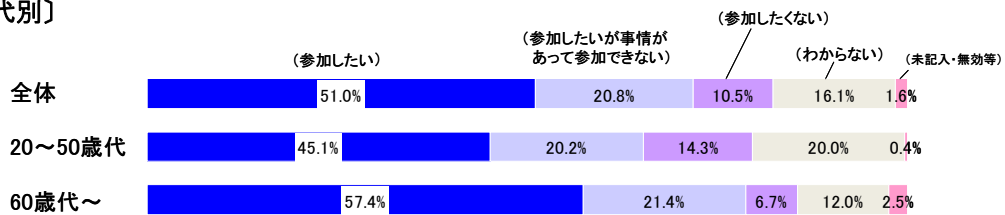


問8 あなたは、グループや団体で自主的に行われている活動(地域活動)に、今後とも(又は今後は)、参加したいと思いますか。参加したくないと思いますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答 1. 参加したい (1276) 2. 参加したいが、事情があって参加できない (521)
3. 参加したくない (263) 4. わからない (402)

- ・「参加したい」の割合が50%以上を占めている。
- ・年代別にみると、60歳代以上の「参加したい」の割合が20～50歳代よりも高くなっている。

〔年代別〕

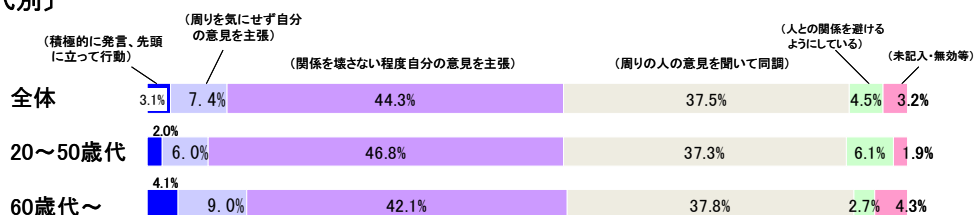


問9 あなたは自分が住んでいる地域で、どのように行動していますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答 1. 積極的に発言し、先頭に立って行動するようにしている。(77)
2. 先頭に立つつもりはないが、周りの人のことを気にせず自分の意見を主張するようにしている。(185)
3. 周りの人との関係を壊さない程度に自分の意見を主張するようにしている。(1107)
4. 自分の意見は主張せず、周りの人の意見を聞いて、正しいと思う意見や多数意見に同調するようにしている。(939)
5. 人との関係をできるだけ避けるようにしている。(113)

- ・「関係を壊さない程度自分の意見を主張」の割合が40%以上を占め、次いで、「周りの人の意見を聞いて同調」が続く。
- ・年代別にみると、20～50歳代の「関係を壊さない程度自分の意見を主張」の割合が60歳代以上よりも高くなっている。

〔年代別〕

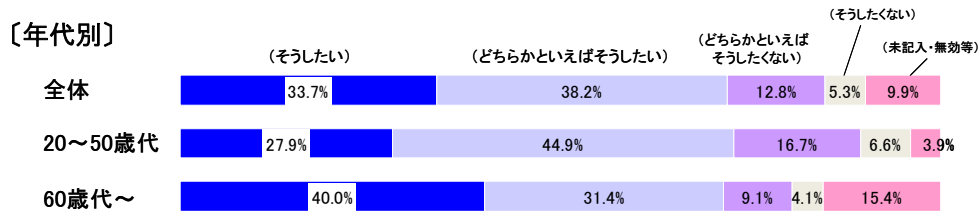


問 10 あなたは自分の老後をどのように過ごしたいと思っていますか。次のA～Gの項目の1～4について、最も当てはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

A. 子どもや孫と一緒に暮らす

- 答 1. そうしたい (843) 2. どちらかといえばそうしたい (956)
3. どちらかといえばそうたくない (321) 4. そうたくない (133)

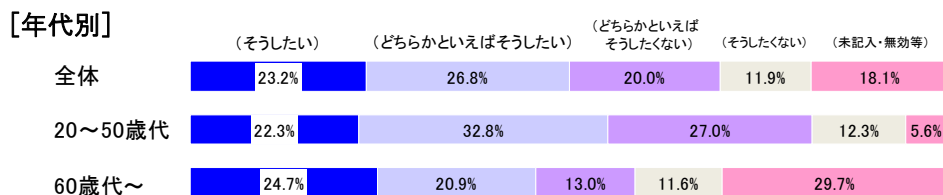
・「そうしたい」の割合が33.7%、「どちらかといえばそうしたい」が38.2%で、両方を合わせた「老後は子どもや孫と一緒に暮らしたい(計)」が71.9%と7割を超えている。



B. 夫婦2人きりで暮らす

- 答 1. そうしたい (581) 2. どちらかといえばそうしたい (670)
3. どちらかといえばそうたくない (500) 4. そうたくない (298)

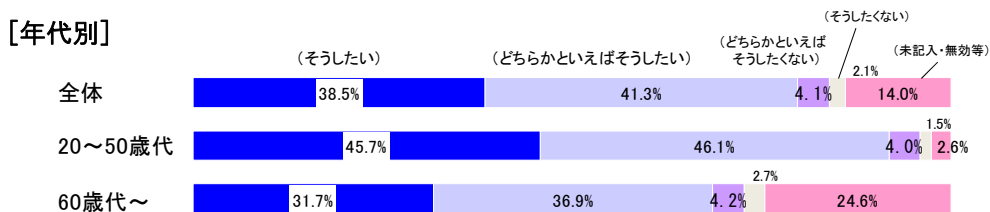
・「そうしたい」の割合が23.2%、「どちらかといえばそうしたい」が26.8%で、両方を合わせた「老後は夫婦2人きりで暮らしたい(計)」が50.0%と約半数となっている。



C. 自分の趣味に時間をかける

- 答 1. そうしたい (964) 2. どちらかといえばそうしたい (1032)
3. どちらかといえばそうたくない (102) 4. そうたくない (52)

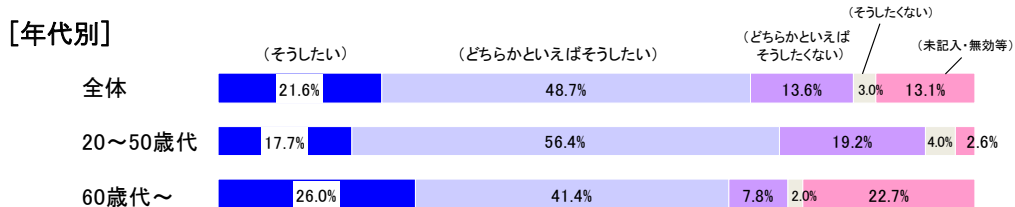
・「そうしたい」の割合が38.5%、「どちらかといえばそうしたい」が41.3%で、両方を合わせた「老後は自分の趣味に時間をかけたい(計)」が79.8%と約8割となっている。



D. 地域の人と交流する

- 答 1. そうしたい (541) 2. どちらかといえばそうしたい (1217)
3. どちらかといえばそうたくない (339) 4. そうたくない (76)

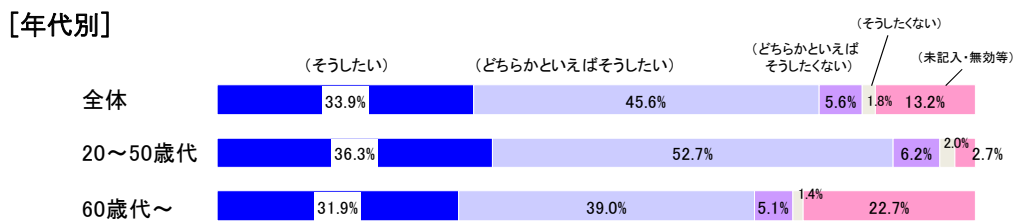
・「そうしたい」の割合が 21.6%、「どちらかといえばそうしたい」が 48.7%で、両方を合わせた「老後は地域の人と交流したい (計)」が 70.3%と7割を超えている。



E. 同年代の仲間と交流する

- 答 1. そうしたい (847) 2. どちらかといえばそうしたい (1141)
3. どちらかといえばそうたくない (139) 4. そうたくない (44)

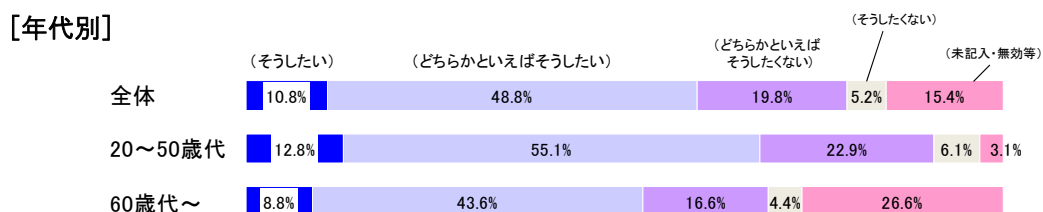
・「そうしたい」の割合が 33.9%、「どちらかといえばそうしたい」が 45.6%で、両方を合わせた「老後は同年代の仲間と交流したい (計)」が 79.5%と約8割となっている。



F. 若い人たちと交流する

- 答 1. そうしたい (270) 2. どちらかといえばそうしたい (1221)
3. どちらかといえばそうたくない (495) 4. そうたくない (131)

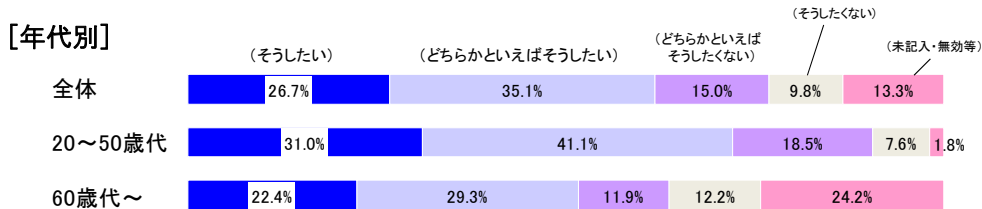
・「そうしたい」の割合が 10.8%、「どちらかといえばそうしたい」が 48.8%で、両方を合わせた「老後は若い人たちと交流したい (計)」が 59.6%と約6割となっている。



G. できるだけ働き続ける

- 答** 1. そうしたい (668) 2. どちらかといえばそうしたい (878)
3. どちらかといえばそうしたくない (376) 4. そうしたくない (246)

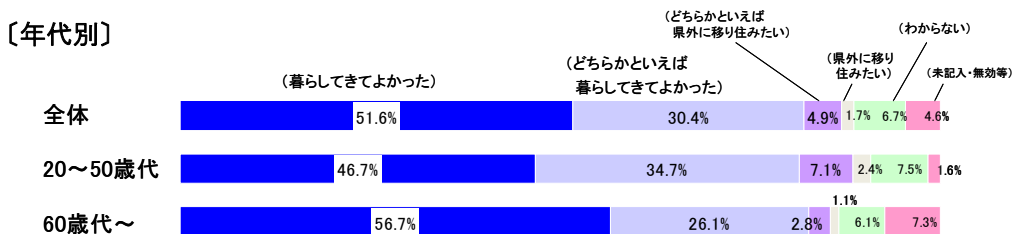
・「そうしたい」の割合が 26.7%、「どちらかといえばそうしたい」が 35.1%で、両方を合わせた「老後はできるだけ働き続けたい(計)」が 61.8%となっている。



問 11 あなたは自分が福井県に暮らしてきて良かったと思っていますか。当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答** 1. 暮らしてきてよかった (1291) 2. どちらかといえば暮らしてきてよかった (761)
3. どちらかといえば県外に移り住みたい (123) 4. 県外に移り住みたい (43)
5. わからない (168)

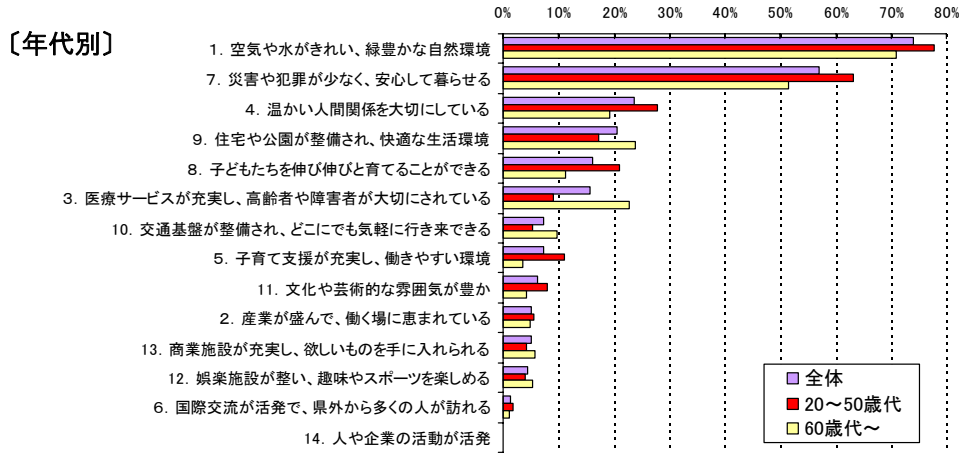
・「暮らしてきてよかった」が 51.6%、「どちらかといえば暮らしてきてよかった」が 30.4%で、両方を合わせた「福井県に暮らしてきたことに満足(計)」の割合が 82.0%と 8 割を超えている。



問 12 福井県の良いところはどこだと思いますか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

- 答** 1. 空気や水がきれいで、緑豊かな自然環境が守られている (1852)
2. 産業が盛んで、働く場に恵まれている (128)
3. 福祉や医療サービスが充実し、高齢者や障害を持つ人が大切にされている (395)
4. 地域コミュニティの結びつきが強く、温かい人間関係を大切にしている (590)
5. 子育て支援が充実し、働きやすい環境が整っている (183)
6. 国際交流や地域間交流が活発で、県外から多くの人を訪れている (35)
7. 災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる (1428)
8. 学校の教育や施設等が充実し、子どもたちを伸び伸びと育てることができる (402)
9. 住宅や公園、下水道などが整備され、快適な生活環境の中で暮らすことができる (512)
10. 道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる (185)
11. 伝統芸能や創作活動が盛んで、文化や芸術的な雰囲気が豊かである (154)
12. 娯楽施設が整い、趣味やスポーツを楽しむことができる (113)
13. 商業施設等が充実し、欲しいものをいつでも手に入れることができる (124)
14. 人口が多く、人や企業の活動が活発である (7)

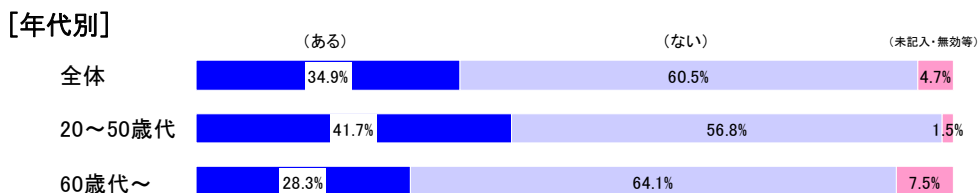
- ・「空気や水がきれいで、緑豊かな自然環境が守られている」が74.1%、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる」が57.1%と、ともに半数を上回り割合が高くなっている。次いで、「地域コミュニティの結びつきが強く、温かい人間関係を大切にしている」23.6%、「住宅や公園、下水道などが整備され、快適な生活環境の中で暮らすことができる」20.5%の順となっている。



問13 あなたは過去に1年以上、福井県以外の地域で暮らしたことがありますか。当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

答 1. ある (872) 2. ない (1512)

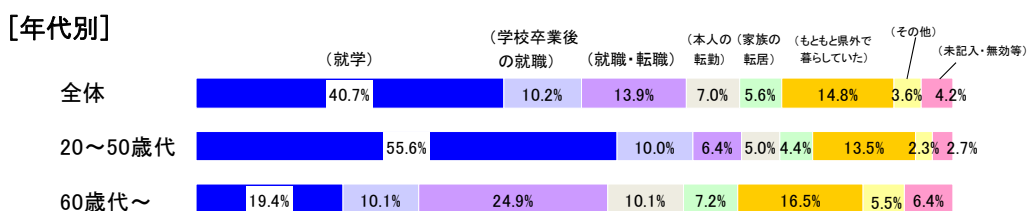
- ・「過去に1年以上、福井県以外の地域で暮らしたことがない」の割合が60.5%を占め、「暮らしたことがある」が34.9%となっている。



問14 問13で1と答えた方のみお答えください。福井県以外の地域で暮らすことになった理由について、当てはまるものを1つ選んでください。複数ある場合には、初めて県外で暮らすことになった時のことについてお答えください。

- 答
1. 就学（専門学校、大学、大学院）(355)
 2. 学校（高校、専門学校、大学、大学院）卒業後の就職 (89)
 3. 2以外の就職、転職 (121)
 4. 本人の転勤 (61)
 5. 家族の転居 (49)
 6. もともと県外で暮らしていた (129)
 7. その他 (31)

- ・「就学」の割合が40.7%で最も高く、次いで「もともと県外で暮らしていた」14.8%、「就職・転職」13.9%と続いている。

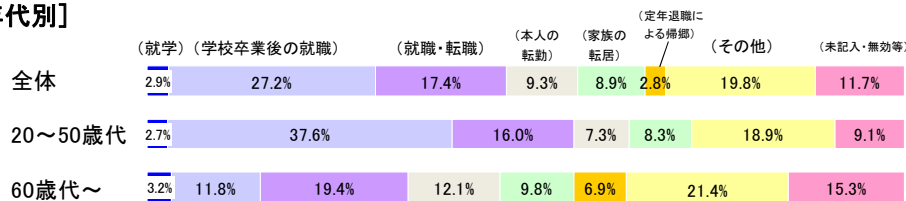


問 15 問 13 で 1 と答えた方のみお答えください。福井県以外の地域から福井県に戻る（来る）ことになった理由について、当てはまるものを 1 つ選んでください。複数ある場合には、初めて戻る（来る）ことになった時のことについてお答えください。

- 答**
1. 就学（専門学校、大学、大学院）（25）
 2. 学校（高校、専門学校、大学、大学院）卒業後の就職（237）
 3. 2 以外の就職、転職（152） 4. 本人の転勤（81） 5. 家族の転居（78）
 6. 定年退職による帰郷（24） 7. その他（173）

・「学校卒業後の就職」の割合が 27.2% で最も高く、次いで「就職・転職」17.4%、「本人の転勤」9.3% と続いている。

[年代別]

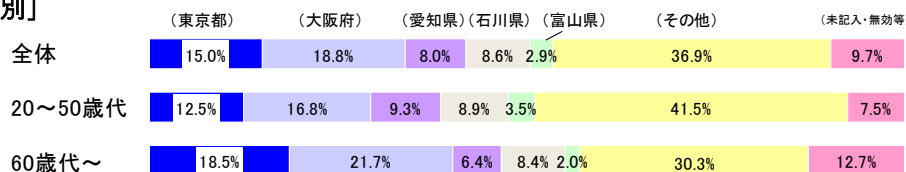


問 16 問 13 で 1 と答えた方のみお答えください。福井県以外で暮らしたことがある地域はどこですか。当てはまるものを 1 つ選んでください。複数ある場合には、もっとも長く暮らした地域をお答えください。

- 答**
1. 東京都（131） 2. 大阪府（164） 3. 愛知県（70） 4. 石川県（75）
 5. 富山県（25） 6. その他（322）

・「大阪府」の割合が 15.0% で最も高く、次いで、「東京都」15.0%、「石川県」8.6% と続いている。

[年代別]

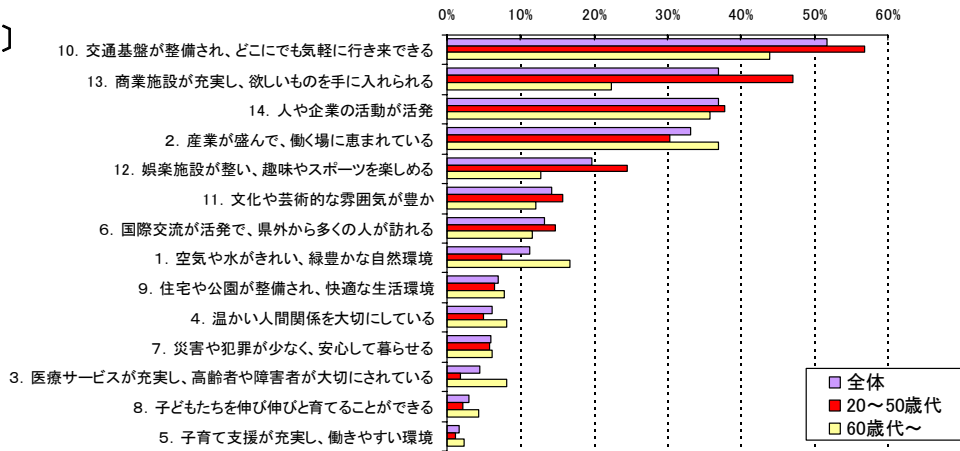


問 17 問 13 で 1 と答えた方のみお答えください。福井県以外の地域で暮らしてみて、福井県よりも良かったと思うことは何ですか。最も当てはまるものを 3 つ選んで○をつけてください。

- 答**
1. 空気や水がきれいで、緑豊かな自然環境が守られている（98）
 2. 産業が盛んで、働く場に恵まれている（289）
 3. 福祉や医療サービスが充実し、高齢者や障害を持つ人が大切にされている（38）
 4. 地域コミュニティの結びつきが強く、温かい人間関係を大切にしている（54）
 5. 子育て支援が充実し、働きやすい環境が整っている（14）
 6. 国際交流や地域間交流が活発で、県外から多くの人を訪れている（116）
 7. 災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる（52）
 8. 学校の教育や施設等が充実し、子どもたちを伸び伸びと育てることができる（26）
 9. 住宅や公園、下水道などが整備され、快適な生活環境の中で暮らすことができる（61）
 10. 道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる（451）
 11. 伝統芸能や創作活動が盛んで、文化や芸術的な雰囲気が豊かである（124）
 12. 娯楽施設が整い、趣味やスポーツを楽しむことができる（173）
 13. 商業施設等が充実し、欲しいものをいつでも手に入れることができる（323）
 14. 人口が多く、人や企業の活動が活発である（323）

- ・「道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる」が51.7%と半数を上回り最も割合が高くなっている。次いで、「商業施設等が充実し、欲しいものをいつでも手に入れることができる」、「人口が多く、人や企業の活動が活発である」がともに37.0%で続いている。

〔年代別〕



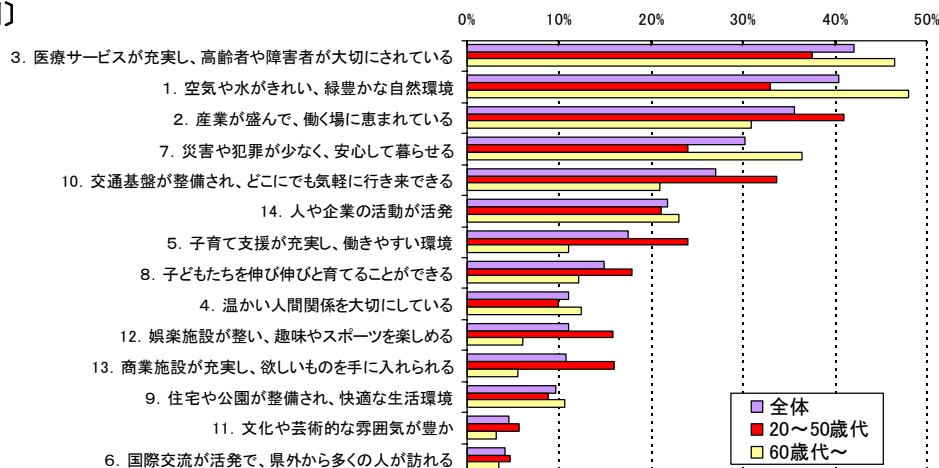
問 18 10年後の福井県が今よりも良くなってほしいと思うところはどこですか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

答

1. 空気や水がきれいで、緑豊かな自然環境が守られている (1012)
2. 産業が盛んで、働く場に恵まれている (894)
3. 福祉や医療サービスが充実し、高齢者や障害を持つ人が大切にされている (1052)
4. 地域コミュニティの結びつきが強く、温かい人間関係を大切にしている (278)
5. 子育て支援が充実し、働きやすい環境が整っている (437)
6. 国際交流や地域間交流が活発で、県外から多くの人が訪れている (102)
7. 災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる (757)
8. 学校の教育や施設等が充実し、子どもたちを伸び伸びと育てることができる (373)
9. 住宅や公園、下水道などが整備され、快適な生活環境の中で暮らすことができる (241)
10. 道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる (679)
11. 伝統芸能や創作活動が盛んで、文化や芸術的な雰囲気が豊かである (112)
12. 娯楽施設が整い、趣味やスポーツを楽しむことができる (274)
13. 商業施設等が充実し、欲しいものをいつでも手に入れることができる (269)
14. 人口が増加し、人や企業の活動が活発な地域になる (546)

- ・「福祉や医療サービスが充実し、高齢者や障害を持つ人が大切にされている」が42.1%と最も割合が高くなっている。次いで、「空気や水がきれいで、緑豊かな自然環境が守られている」40.5%、「産業が盛んで、働く場に恵まれている」35.7%と続いている。

〔年代別〕



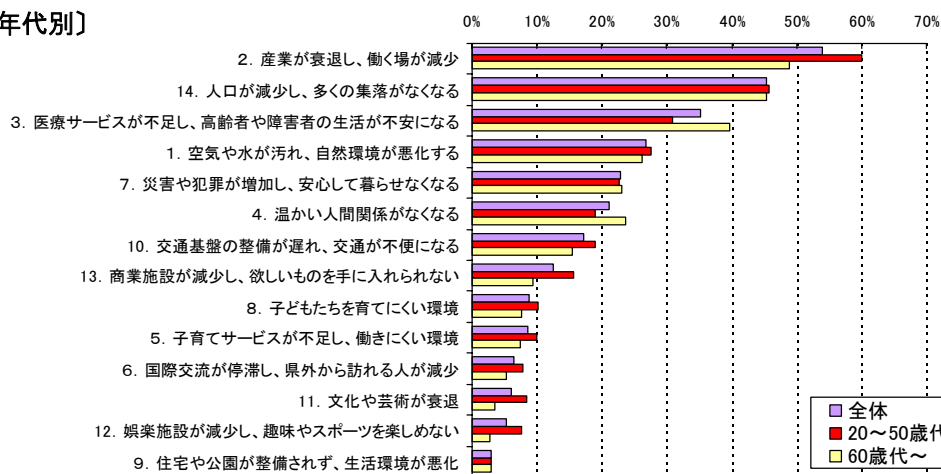
問 19 10年後の福井県が今よりも悪くなるのではないかと心配に思うところはどこですか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

答

1. 空気や水が汚れ、緑が少なくなり自然環境が悪化する (671)
2. 産業が衰退し、働く場が不足する (1350)
3. 福祉や医療サービスが不足し、高齢者や障害を持つ人の生活が不安定になる (877)
4. 地域コミュニティの結びつきが希薄になり、温かい人間関係がなくなる (530)
5. 子育てサービスが不足し、働きにくい環境になる (218)
6. 国際交流や地域間交流が停滞し、県外から訪れる人が減少する (163)
7. 災害や犯罪が増加し、安心して暮らすことができなくなる (570)
8. 学校の教育や施設等の水準が低下し、子どもたちを育てにくい環境になる (221)
9. 住宅や公園、下水道などが整備されず、生活環境が悪化する (75)
10. 道路や鉄道などの交通基盤の整備が遅れ、交通が不便になる (430)
11. 伝統芸能や創作活動が低迷し、文化や芸術が衰退する (150)
12. 娯楽施設が減少し、趣味やスポーツを楽しむことができなくなる (129)
13. 商業施設等が減少し、欲しいものをなかなか手に入れることができなくなる (313)
14. 人口が減少し、多くの集落がなくなったり、なくなる恐れがある (1134)

・「産業が衰退し、働く場が不足する」の割合が最も高く、54.0%と半数を上回り、近年の厳しい経済状況を反映する結果となった。次いで、「人口が減少し、多くの集落がなくなったり、なくなる恐れがある」45.3%、「福祉や医療サービスが不足し、高齢者や障害を持つ人の生活が不安定になる」35.1%と続いている。

〔年代別〕



問 20 福井県の将来に向けて、どのような人を育てていくことが必要だと思いますか。次のA～Dの項目の1～4について、最も当てはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

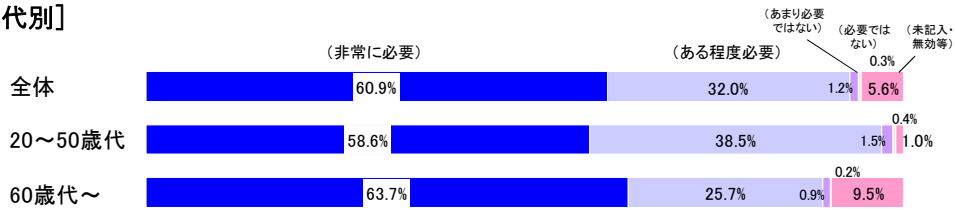
A. ふるさと福井に愛着や誇りを持ち、地域に貢献する人

答

1. 非常に必要 (1523)
2. ある程度必要 (801)
3. あまり必要ではない (30)
4. 必要ではない (7)

・「非常に必要」の割合が 60.9%、「ある程度必要」が 32.0%で、両方を合わせた「必要だと思う(計)」が 92.9%と9割を超えている。

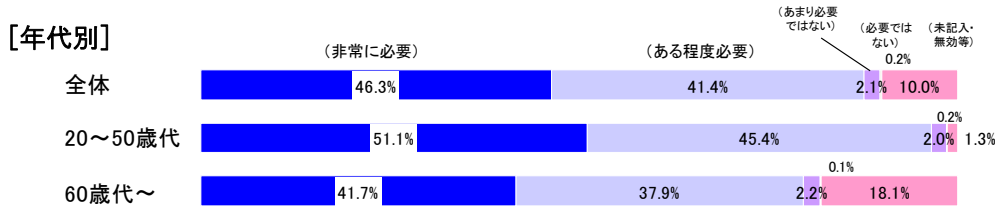
[年代別]



B. 社会に出たときに必要とされる実践的な能力を身に付けた人

- 答 1. 非常に必要 (1159) 2. ある程度必要 (1035) 3. あまり必要ではない (52)
4. 必要ではない (4)

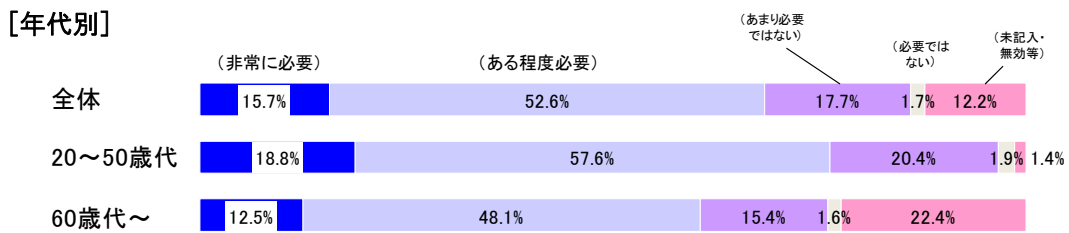
・「非常に必要」の割合が 46.3%、「ある程度必要」が 41.4%で、両方を合わせた「必要だと思う(計)」が 87.7%と約9割となっている。



C. 全国や世界で活躍する科学者やスポーツ選手のように特別な能力を持った人

- 答 1. 非常に必要 (393) 2. ある程度必要 (1316) 3. あまり必要ではない (443)
4. 必要ではない (43)

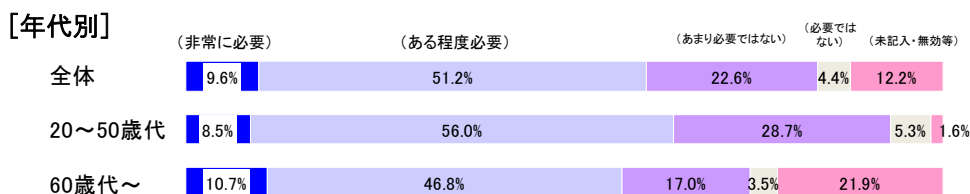
・「非常に必要」の割合が 15.7%、「ある程度必要」が 52.6%で、両方を合わせた「必要だと思う(計)」が 68.3%となった。



D. 有名な高等教育機関(大学等)を卒業するような学力の高い人

- 答 1. 非常に必要 (241) 2. ある程度必要 (1281) 3. あまり必要ではない (566)
4. 必要ではない (109)

・「非常に必要」の割合が 9.6%、「ある程度必要」が 51.2%で、両方を合わせた「必要だと思う(計)」が 60.8%となった。



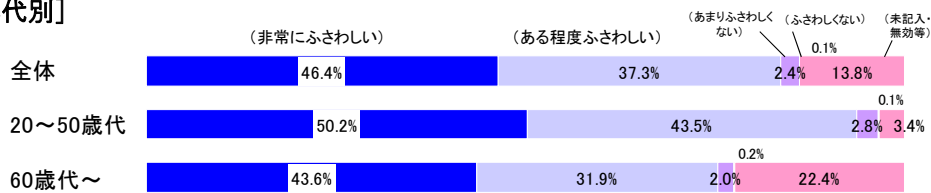
問 21 10年後の福井県において、地域社会を支えるのにふさわしいと思う主体は何だと思えますか。次のA～Dの項目の1～4について、最も当てはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

A. 家族や同じ地域の人

- 答 1. 非常にふさわしい (1161) 2. ある程度ふさわしい (933) 3. あまりふさわしくない (59)
4. ふさわしくない (3)

・「非常にふさわしい」の割合が46.4%、「ある程度ふさわしい」が37.3%で、両方を合わせた「ふさわしいと思う(計)」が83.7%で8割を超えている。

[年代別]

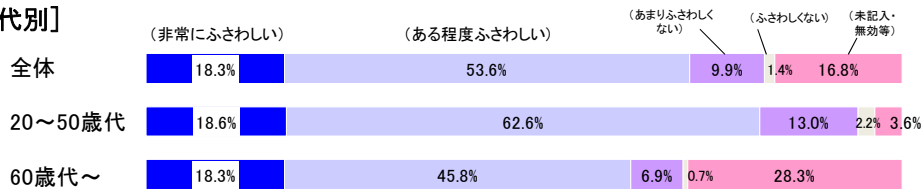


B. NPOやボランティア団体

- 答 1. 非常にふさわしい (457) 2. ある程度ふさわしい (1340) 3. あまりふさわしくない (247)
4. ふさわしくない (36)

・「非常にふさわしい」の割合が18.3%、「ある程度ふさわしい」が53.6%で、両方を合わせた「ふさわしいと思う(計)」が71.9%で7割を超えている。

[年代別]

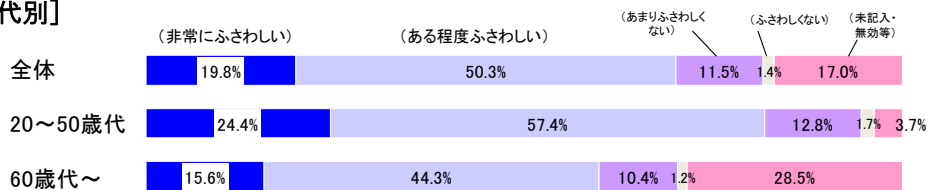


C. 民間企業 (のサービス)

- 答 1. 非常にふさわしい (496) 2. ある程度ふさわしい (1258) 3. あまりふさわしくない (287)
4. ふさわしくない (36)

・「非常にふさわしい」の割合が19.8%、「ある程度ふさわしい」が50.3%で、両方を合わせた「ふさわしいと思う(計)」が70.1%で7割を超えている。

[年代別]

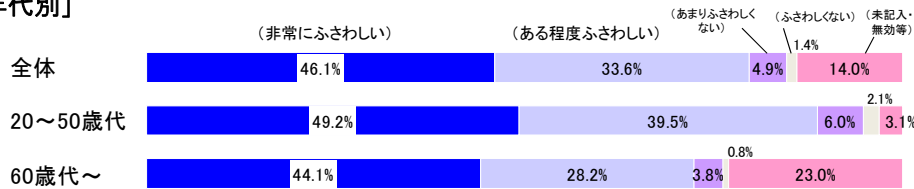


D. 行政（のサービス）

- 答** 1. 非常にふさわしい（1153） 2. ある程度ふさわしい（841） 3. あまりふさわしくない（122）
4. ふさわしくない（36）

・「非常にふさわしい」の割合が46.1%、「ある程度ふさわしい」が33.6%で、両方を合わせた「ふさわしいと思う（計）」が79.7%で約8割となっている。

[年代別]

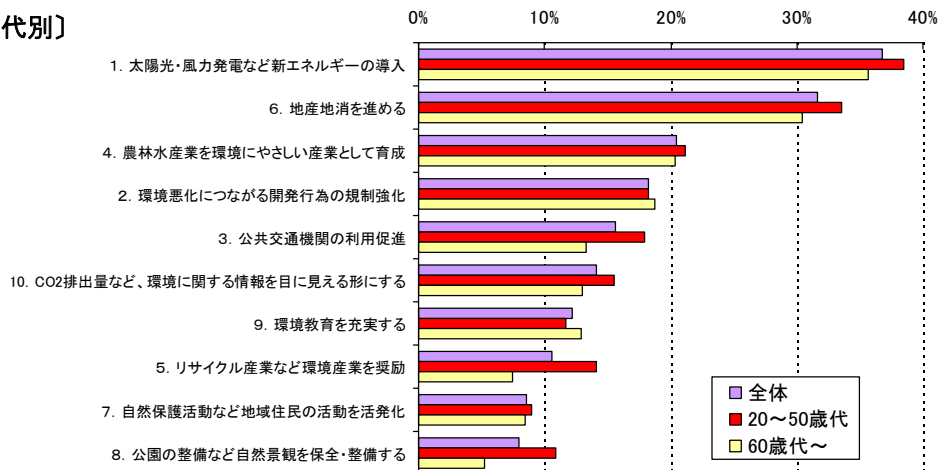


問 22 福井県が地球温暖化問題などの環境問題に対応していくためには、今後、どのようなことが必要だと思いますか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

- 答**
- 太陽光発電や風力発電、バイオマス燃料など、石油や石炭に替わる新エネルギーの導入を進めること（920）
 - 二酸化炭素の排出量や環境の悪化につながる開発行為などに対する規制を強化していくこと（456）
 - 環境にやさしい公共交通機関の利用を促進していくこと（389）
 - 農林水産業の衰退に歯止めをかけ、環境にやさしい産業として育成していくこと（513）
 - 環境調和型商品の製造やリサイクル産業など、環境産業を奨励していくこと（266）
 - 地元でとれた食材や地元で製造した製品を購入する地産地消を進めていくこと（790）
 - 地域の緑化運動や自然保護活動など、地域住民の活動を活発にしていくこと（216）
 - 自然公園や地域の公園を整備するなど、自然景観を保全、整備していくこと（199）
 - 県民に自然や環境保護の大切さを教える環境教育を充実していくこと（304）
 - 二酸化炭素や廃棄物の排出量など、環境に関する情報を目に見える形（見える化）にしていくこと（353）

・「太陽光発電や風力発電、バイオマス燃料など、石油や石炭に替わる新エネルギーの導入を進めること」が36.8%と最も割合が高くなっている。次いで、「地元でとれた食材や地元で製造した製品を購入する地産地消を進めていくこと」31.6%、「環境調和型商品の製造やリサイクル産業など、環境産業を奨励していくこと」20.5%と続いている。

[年代別]



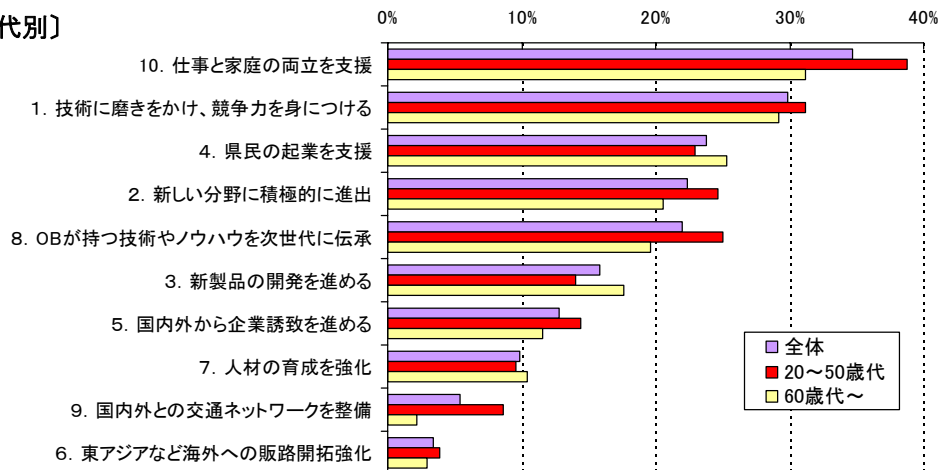
問 23 福井県の産業を活性化していくためには、今後、どのようなことが必要だと思いますか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

答

1. 県内企業が持つ優れた技術に磨きをかけ、競争力を身につけること
2. 県内企業が時代のニーズに応じた新しい分野に積極的に進出していくこと
3. 県内企業が新素材や新エネルギー、ITなどの新しい技術の導入を進め、新製品の開発を進めること
4. 新しい企業が県内から生まれるよう、県民の起業を支援していくこと
5. 国内外からの企業誘致を積極的に進めていくこと
6. 成長が著しい東アジアなど、海外への販路開拓を強化していくこと
7. 国際競争を乗り越える力を持った人材の育成を強化していくこと
8. 退職した高齢者などが持つ技術やノウハウを次世代に伝承していくこと
9. 商品の流通や人の交流を支える国内外との交通ネットワークを整備していくこと
10. 仕事と家庭の両立を支援するなど、誰もが働きやすい環境を整えること

・「仕事と家庭の両立を支援するなど、誰もが働きやすい環境を整えること」が 34.7%と最も割合が高くなっている。次いで、「地元でとれた食材や地元で製造した製品を購入する地産地消を進めていくこと」29.9%、「新しい企業が県内から生まれるよう、県民の起業を支援していくこと」23.8%と続いている。

〔年代別〕



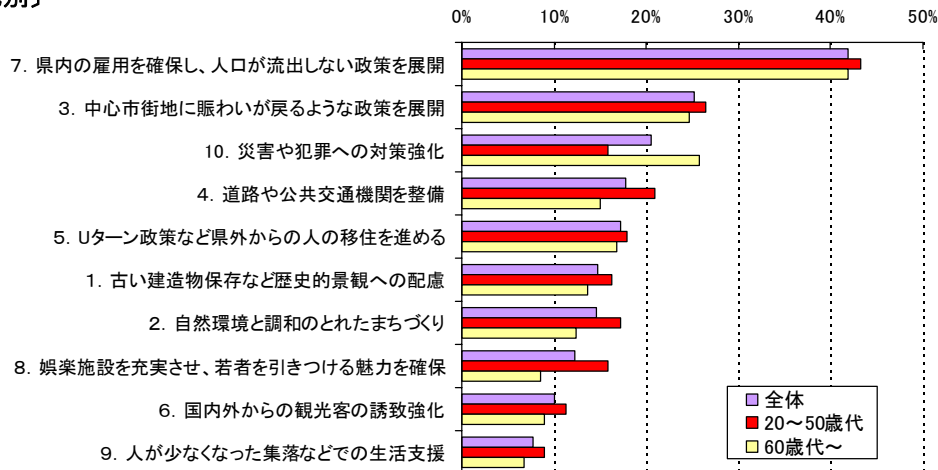
問 24 福井県の将来に向けた街づくりに関して、今後、どのようなことが必要だと思いますか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

答

1. 古い建造物を保全するなど、歴史的な景観への配慮をしていくこと (371)
2. 公園の整備や自然保護など、自然環境と調和のとれた街づくりを行うこと (366)
3. 中心市街地に賑わいが戻るような政策を展開していくこと (630)
4. 地域内の移動が便利になるよう、道路や公共交通機関を整備していくこと (444)
5. 都市に出た人を呼び戻すUターン政策など、県外からの人の移住を進めること (430)
6. 国内外からの観光客の誘致を強化するなど、人の交流が活発になること (253)
7. 県内の雇用を確保するなど、人口が流出しない政策を展開していくこと (1048)
8. 娯楽施設や商業施設を充実するなど、若者を引きつける魅力を確保していくこと (304)
9. 人が少なくなった集落などでの人々の生活を支援していくこと (193)
10. 県民が安心して暮らせるよう、災害や犯罪への対策を強化すること (513)

・「県内の雇用を確保するなど、人口が流出しない政策を展開していくこと」が 41.9%と最も割合が高くなっている。次いで、「中心市街地に賑わいが戻るような政策を展開していくこと」25.2%、「県民が安心して暮らせるよう、災害や犯罪への対策を強化すること」20.5%と続いている。

〔年代別〕



IV 自由意見

○ 教育（人づくり）

- ・ 将来に向けて、教育にはさらに力を入れ充実させていくべきである。
- ・ 福井県民のポテンシャルの高さ（子どもの学力、運動能力の高さ）をずっと維持してもらいたい。
- ・ 日本全体や世界を見据えた広い視野を持てる若手人材の育成が必要である。
- ・ 最先端の技術を学べる教育機関の設置（医療や宇宙工学など）により、全国から優秀な人材が集まり学べる学園都市を目指してほしい。
- ・ 性格的に、しんの強い、くじけない子供を育成してほしい。
- ・ 教育において子どもの心情が豊かに育つように努力してほしい。
- ・ 家庭、地域、学校が連携して子どもの教育に力を注ぐことが何より重要と思う。
- ・ 最近収入に恵まれた人だけが、高等教育（高校・大学）を受け、勉強したくても高等教育が受けられない時代になっている。県として、恵まれない状況にある子どもたちが「希望」を持つ道を拓いてほしい。
- ・ 子どもたちが福井に生まれ育ったことを誇りに思い、たとえ一時離れても戻ってきたいと思えるような福井であってほしい。

○ 人口減少・少子高齢化

- ・ 県の人口減少に歯止めをかけるような政策を推進する必要がある。そのために、安全・安心な、また安定した生活ができる街づくりにより、住みやすい福井にしてほしい。
- ・ 60歳代はまだ若く、働く場がほしい。若者に自分たちの技術をもっと教えてあげたいし、そのことによって自分たちも精神的に若いままでいられる。また、生きがいもできる。
- ・ 技術の継承や地域の若者との交流など、高齢者、定年退職者の活動の場を拡大するとよい。
- ・ 定年退職や独り暮らしになった場合、家賃が安いシルバー用のマンションがあるとよい。入居者同士がお互い助けあって老後を楽しく過ごせるのではないかとと思う。

○ 子育て・女性

- ・ 核家族の場合、子どもが病気の時など仕事との両立が難しい。企業側の協力など子育て支援の充実を力を入れてほしい。
- ・ 子育て支援金の支給や授業料の無料化など、子育ての経済的負担を軽減するような施策をおこなってほしい。
- ・ 保育園、幼稚園を増やすなど、女性が働きながら子育てしやすい環境を整備してほしい。
- ・ 福井は共働き世帯が多いのはいいが、女性の負担が大きい。男性の育児休業取得など行政、企業が後押しするべきである。
- ・ 子育てが落ち着いた後の女性の再就職支援をおこなってほしい。

○ 医療・福祉

- ・「健康長寿日本一」を推進するのであれば、がん検診などに対する行政の手厚い補助が必要である。
- ・福井市だけでなく、全県に医療施設を整備してほしい。
- ・誰でも安心して入れる老人ホームを増やしてほしい。
- ・高齢者が安心して暮らしていけるよう、医療や年金を充実してほしい。

○ コミュニティ

- ・近頃は近所に住んでいても知らない人が多すぎる。一人暮らしの方への声かけや子どもの世話など、昔みたいに近所で協力してできるとよい。
- ・集落内に若者が少ない。そのため、地域の青年団や消防団に加入し役員をこなさなければならず負担となっている。これらの地域活動について少し見直す必要がある。
- ・核家族が増えており、お年寄り子どもたちの交流の場があるとよい。

○ 安全・安心

- ・車の運転のマナーが悪いと感じる。しっかり取り締まるべきである。
- ・集中豪雨に備え、防災ダムや貯水場をつくってほしい。
- ・原子力発電所の安全性について、正確な情報をこれまで以上にきめ細かく発信できるシステムづくりに努めてほしい。

○ 産業・雇用

- ・若者が安心して働ける場を確保してほしい。
- ・眼鏡、繊維、漆器など、地場産業、伝統的産業が衰退しないよう支援すべきである。
- ・原子力関連の研究開発を産学官で積極的に進め、新産業を創出すべきである。
- ・景気回復のために、企業に対する支援・援助、雇用促進を図り、いつまでも安心して働くことが出来るようにしてほしい。
- ・福井の人は学歴、技術などに優れた人たちが多くいる。その人たちが県内で力を十分に発揮できる企業、職場を充実させる必要がある。
- ・子どもたちが県外の学校へ行ってもまた福井に戻り、働けるような魅力ある仕事があるとよい。

○ 農林水産業

- ・福井は食べ物が美味しく、緑が豊かである。都会化をめざすのではなく、どんどん田舎の良さをアピールし、農業などに携わる方の支援がもっと必要である。
- ・農業を生業とし生活できる環境づくりが必要である。
- ・耕作放棄地が多く見られるが、活用方法を探る必要がある。
- ・漁業においては、「養殖」にもっと力を入れるべきである。
- ・林業はもとより観光に活かせるような林道を整備してほしい。

○ 環境・エネルギー

- ・子や孫の代までも今の福井の豊かな自然が保たれるよう一人ひとりが自覚して生活してほしい。
- ・自然環境の良さは福井が全国に誇れる点だと思う。子どもたちにこのことを教える時間を作るべきである。
- ・山、川、海など福井の自然を大事にしていきたい。道に落ちているゴミを見つけたら拾ってごみ箱に入れることが自然にできる県民気質をもちたい。
- ・自然を活かした施設、例えば老若男女を問わず、子どもから大人まで集える大きな公園がたくさんあるとよい。
- ・福井は原子力発電の電力量で全国1、2位を争うと同時に、CO₂の削減に努力している県である。今後CO₂削減のため、積極的に太陽光発電、風力発電などに力を注ぎ、「CO₂削減全国一位」をめざすべきである。
- ・情報通信網のインフラ整備を進め、電力の管理を一元化するような政策に県をあげて取り組むべきである。

○ 定住・帰住

- ・人間の温かみや自然環境の良さをアピールし、一度来た人がリピーターとしてまた行きたくなくなるような、また、県外から移り住みたいと思われるような福井であってほしい。
- ・若い人や優秀な人材が県外へ流出しない政策を展開してほしい。
- ・Ｕターン政策で福井へ戻るにも仕事がなく、給料も低い。働く場所を作ることが先決である。

○ 交通

- ・公共交通機関の運行本数を増やすなど便利にしてほしい。福井を拠点に京都、大阪、東京などの行き来が十分にできる環境にすれば福井を離れることなく、交流や自由な情報を得ることができると思う。
- ・バス、鉄道など公共交通機関を充実させ、高齢者が自動車の運転をしなくても自由に安全に外出できるようにするべきである。
- ・福井の道路は狭いし、信号が多すぎる。せめて交通量の多い場所はもっときれいで良い道を作ってほしい。
- ・歩道の整備をしてほしい。狭かったり斜めになっていたり、また、急な段差も多くベビーカーが通れない所が多過ぎる。車椅子の方のためにもぜひ、対応してほしい。

○ 街づくり

- ・福井に住む人間がもっと自信を持てるように、駅前を中心にした商業施設を充実し、福井にしかない何かを考えていく必要がある。
- ・県都としての福井市中心街の発展が、県の発展につながると思う。
- ・新しいものを生み出すばかりでなく、旧き良き街並みや建造物を活かして他県とは違う福井ならではの街づくりを推進してほしい。
- ・県外へわざわざ出なくてもいいような娯楽施設が必要だと思う。
- ・県庁を移転し、観光の目玉になるような城址公園を整備してほしい。

○ 観光・ブランド

- ・共働き率日本一、子どもの学力・体力全国トップクラス、健康長寿など、福井の素晴らしい点を活かす県政であってほしい。このことに県民が自信と誇りを持てるよう、大いにPRするべきである。
- ・都市や海外に依存するような文化の発信や経済の発展でなく、福井の持つ豊かな自然や歴史を自ら育む努力をすべきである。
- ・交通の便の改善や観光地周辺施設の充実など、福井の観光産業を発展させるべきである。
- ・媒体をうまく利用して福井の観光名所・特産品をPRし、観光客を呼び込む活動をおこなってほしい。
- ・観光振興策として、特産品の掘り起こし、昔の名物の見直し、おふくろの味を基にした特産品の発掘などを行うとよい。

○ その他

- ・行財政改革の10年後のビジョンがほしい。県の借金の「つけ」を子や孫の世代に残すべきではない。
- ・限られた予算を上手に使って福井の活性化に取り組んでほしい。行政に大いに期待する。